

<報道発表>

2024年2月19日
一般社団法人定年後研究所
株式会社ニッセイ基礎研究所

共同研究「中高年女性会社員の活躍に向けた現状と課題」 調査報告書のご案内

一般社団法人定年後研究所（東京都港区）と株式会社ニッセイ基礎研究所（東京都千代田区）は共同で、2023年9月～11月、これまで企業が「女性活躍」や「中高年社員活性化」の取組の対象として見落としがちだった、「中高年の女性会社員」に主に焦点を当てて、本人の意識を調査するアンケート（第1部）と、企業側の取組を調査するインタビュー調査（第2部）を実施しました。

<調査結果のポイント>

【第1部 アンケート「中高年女性の管理職志向とキャリア意識等に関する調査～『一般職』に焦点をあてて～】

- ▽中高年女性会社員の管理職志向は、条件なしで「就きたい」は8.6%だったが、「職場の状況次第では就いても構わない」（12.1%）と「家庭の状況次第では就いても構わない」（3.6%）という“条件付き”を合わせると、管理職希望を持っている層は24.3%に上る。
- ▽職場において、仕事のやりがいや、評価、人事、教育・研修機会、サポート体制などに満足している層や、家庭において、夫の家事分担に満足している層は、管理職希望の割合が高い。
- ▽管理職経験のある中高年女性のうち、「管理職の仕事は人生経験としてプラスだ」と肯定的に捉えている割合は66.5%に上る。
- ▽中高年女性のうち、自発的な「学び直し」に関心がある層は43.5%に上る。

【第2部 「ダイバーシティ・中高年社員活躍に関する大企業取組インタビュー調査】

- ▽ボリュームゾーンになりつつある中高年社員の活性化、すなわち人事制度・運営の改正、経験を活かせる役割付与、モチベーション向上に向けたキャリア研修・キャリア面談に注力する企業が大半を占める。（11社個々の取組内容を記載）
- ▽「女性だから、男性だから」ではなく、個々のキャリア志向・管理職適性を見極めて、「年齢によらない人物本位」の人事運営を強調、実践し始めている企業が多く、意欲ある中高年女性社員に、機会付与・処遇面で報いる明確な考えを確認できた。

<調査概要>

第1部 2023年10月、全国の、従業員500人以上の大企業に勤める45歳以上の中高年女性会社員を対象にウェブ上で実施。有効回答数1,326。

第2部 2023年9月～11月、大企業11社を対象に実施。

<問い合わせ先>

第1部 株式会社ニッセイ基礎研究所 生活研究部 准主任研究員 坊美生子

（代表）03-3512-1886（直通）03-3512-1821 mioko_bo@nli-research.co.jp

第2部 一般社団法人定年後研究所 所長 池口武志

（代表）03-3454-5650（直通）090-5536-9266 t-ikeguchi@sewabl.co.jp